遠野市監査委員告示第10号
令 和 ３ 年 ８ 月 ２ ０ 日

地方自治法第 199条第７項の規定により遠野市が出資している法人の監査を実施したので、同条第９項の規定により、その結果を別紙のとおり公表します。

遠野市監査委員　　佐　藤　サヨ子
遠野市監査委員　　佐々木　資　光

令和２年度

遠野市が出資している法人の監査結果報告書

遠 野 市 監 査 委 員

遠 監 第 ２５号
令和３年８月20日

遠野市長　本　田　敏　秋　様

遠野市監査委員　　佐　藤　サヨ子
遠野市監査委員　　佐々木　資　光

遠野市が出資している法人の監査結果報告書（令和２年度決算分）について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第７項の規定により遠野市が出資している法人について監査を実施したので、同条第９項の規定により、その結果を別紙のとおり提出します。

なお、佐々木資光委員は、地方自治法第199条の２の規定に基づき、一般社団法人遠野ふるさと公社の監査については除斥しました。

目　　次

第１　監査の期日、対象等 …… 1
第２　監査の内容 …… 1
第３　監査の結果 …… 1
　１　株式会社遠野 …… 2
　２　株式会社遠野テレビ …… 6
　３　一般社団法人遠野市畜産振興公社 …… 11
　４　一般社団法人遠野ふるさと公社 …… 22
　５　一般社団法人遠野わさび公社 …… 29
　６　株式会社遠野ふるさと商社 …… 33

【凡例】
１　文中及び各表中に用いる比率は、原則として小数点第２位を四捨五入して表示した。
２　千円単位で表示してあるものについては、原則として千円未満を四捨五入して表示した。そのため差額又は合計金額が一致しない場合がある。
３　文中及び各表中に用いる構成比率は、それぞれの占める割合を表示し、比較増減率（伸び率）は前年度に対する増減の割合を表示した。
４　符号の用法は、次のとおりである。
「0.0」は、比較増減率の欄を除き、該当数値はあるが表示単位未満のものを示す。
「－」は、該当数値がないもの又は算出不能なものを示す。
「△」は、負数、減又は収入不足を示す。

遠野市が出資している法人の監査結果報告書
（令和２年度決算分）

第１　監査の期日、対象等

地方自治法第199条第７項の規定に基づき市長から監査の要求があった市が出資している法人について、書類監査は令和３年７月21日に実施した。各法人からの聞き取りによる監査は、各法人の事務所又は市役所本庁舎会議室において７月26日及び28日の間の２日間、延べ３日間実施した。

法　人　名		資本金総額	市の出資金	出資率
1	株式会社遠野	200,000千円	100,000千円	50.0%
2	株式会社遠野テレビ	93,000千円	51,000千円	54.8%
3	一般社団法人遠野市畜産振興公社	250,000千円	190,000千円	76.0%
4	一般社団法人遠野ふるさと公社	71,000千円	60,500千円	85.2%
5	一般社団法人遠野わさび公社	5,000千円	3,300千円	66.0%
6	株式会社遠野ふるさと商社	64,025千円	30,000千円	46.9%
合　計		683,025千円	434,800千円	－

（③1000_監査対象法人）

第２　監査の内容

各法人の令和２年度における事業報告書及び財務諸表により、その内容を監査するとともに、総勘定元帳、預金通帳その他関係書類を試査する形で提示を受け、また、法人の代表者、経理担当者等からの説明を聴取して実施した。

第３　監査の結果

各法人の事業報告書及び財務諸表は、本事業年度における事業成果及び財務状況をおおむね適正に表示していると認められた。

令和２年度決算における損益計算書又は正味財産増減計算書で赤字を計上している法人は、(株)遠野、(一社)遠野市畜産振興公社、(一社)遠野ふるさと公社及び(株)遠野ふるさと商社の４法人である。昨年度、赤字を計上した(一社)遠野わさび公社は、当期収支差額1,679千円で黒字決算となった。(株)遠野テレビは、開業以来21期連続の黒字決算となった。詳細については、後述の法人ごとの監査結果のとおりであるが、生産原価を下回る価格や市況価格を反映しない金額での販売が一部で認められた（一社)遠野市畜産振興公社・放牧事業部門及び（一社)遠野わさび公社については、自らの経営の健全性と安定性の実現のみならず、今後も持続的かつ安定的にサービスを提供するため、原価管理に基づく価格設定の仕組みづくり等、現状の見直しを検討されたい。また、法人及びその従業員の経営改善の努力が見て取れることができるよう、市においても最終的に農家等の市民が受益者となる補助金については、交付方法等を見直されることを期待する。

今後とも、公益法人においては公益法人会計基準、会社法に基づく法人においては企業会計原則を遵守しながら、一層の経営努力を望むものである。

１　株式会社遠野

遠野ふれあい交流センター、とおの物語の館及び城下町資料館の指定管理、遠野市立博物館の受付業務、宿泊施設、レストラン、喫茶店及び土産品店の経営並びに各種イベントの企画、制作、運営等を営む法人である。

令和２年度の事業概況は次のとおりであるが、４月16日に新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言区域が全都道府県へ拡大され、ゴールデンウイーク期間を含む１カ月以上にわたりあえりあ遠野及びとおの物語の館が休業を余儀なくされる等、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて各種実績は例年を大きく下回り、旅行需要が激減した全国的な動向に比例して、宿泊部門においては宿泊者数は8,696人（前年度17,796人）で前年度を9,100人（51.1％）下回った。ただし、教育旅行・学生合宿の分野では、ＧｏＴｏトラベル、遠野市スポーツ等合宿支援事業費補助金、遠野市内宿泊応援クーポン等を利用して集客を図った結果、1,023人（前年度1,461人）と前年度から30.0％の減少にとどまった。客室全62室の稼働率は28.0％（前年度50.2％）と22.2ポイント減で、６年連続の下落となり、売上額は55,807千円（前年度120,836千円）で65,029千円（53.8％）減少した。

営業(料飲)部門においては、令和元年度に改善が見られた婚礼での利用は皆無（前年度４組・7,700千円）、祝賀会での利用も皆無（前年度７件）であり、観光ツアー客等の食事利用も580人（前年度1,014人）で42.8％減少した結果、レストラン及び宴会の売上額は46,502千円（前年度143,588千円）で97,086千円（67.6％）減少した。

受託管理部門のうち、とおの物語の館については、入館者数10,941人（前年度25,130人）で56.5％減少し、お土産処赤羽根蔵への来客者も減少して売上は6,149千円（前年度13,501千円）で54.5％減少となった。

なお、遠野ふれあい交流センター（とおの物語の館他含む）及び遠野市立博物館受付業務の合算での受託料72,141千円（前年度66,492千円）の増加分については、とおの物語の館に係る指定管理料の新型コロナウイルス感染症による減収補填等によるものである。

経営成績では、総収益が202,444千円（前年度334,825千円）と132,381千円（39.5％）減少した。総費用も215,243千円（前年度340,347千円）で125,104千円（36.8％）減少し、当期純利益は△12,799千円（前年度△5,522千円）で7,277千円（131.8％）の減少となった。これに前期繰越利益剰余金1,006千円を加えた次期繰越利益剰余金は△11,793千円となっている。

コロナ禍で様相が一変した中での令和２年度の法人経営・事業運営は、厳しい数字での決算となった。しかし、持続化給付金、雇用調整助成金等を活用して人件費の一部を賄う取組みはあったものの、未だ収束が見られない新型コロナウイルス対策、新しい日常における各事業展開のあり方検討に関しては、抜本的な見直しが必要と感じられた。

従前とは異なって大きく変化した市場環境に対し、予測と修正の繰り返しを基本とする攻めの事業展開に期待したい。

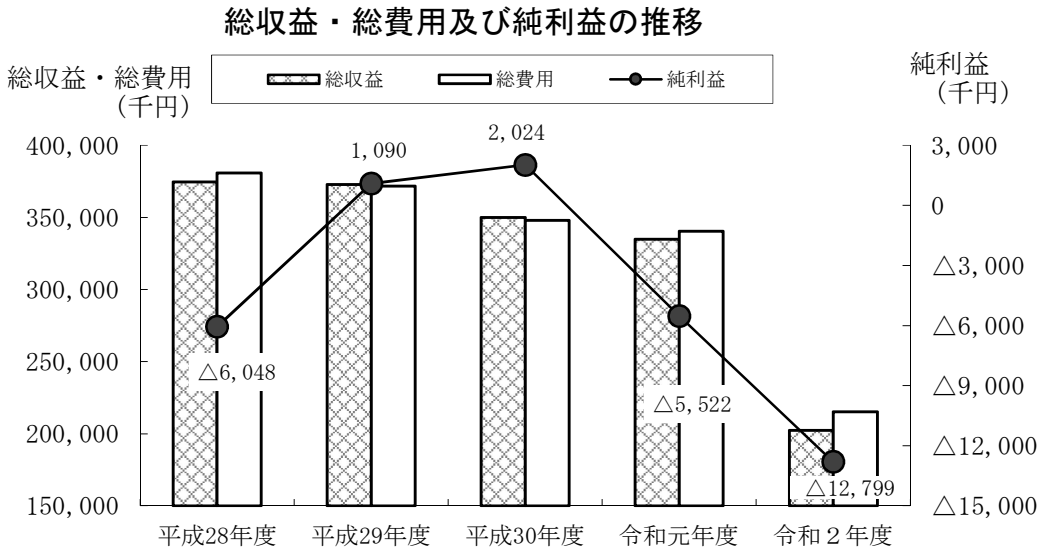
(1) 経営状況

（単位：円、％）

区　　分	令和元年度	令和２年度	前年度比較	
			増減額	増減率
総　収　益	334,825,008	202,443,657	△132,381,351	△39.5
総　費　用	340,346,581	215,242,722	△125,103,859	△36.8
当期純利益	△5,521,573	△12,799,065	△7,277,492	△ 131.8

（③1101_遠野_経営状況）

※　総費用には、法人税等納税充当金を含む。



（単位：千円）

区　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度
総収益	374,705	372,841	349,949	334,825	202,444
総費用	380,753	371,751	347,925	340,347	215,243
純利益	△6,048	1,090	2,024	△5,522	△12,799

（③1102_遠野_総収入等の推移）

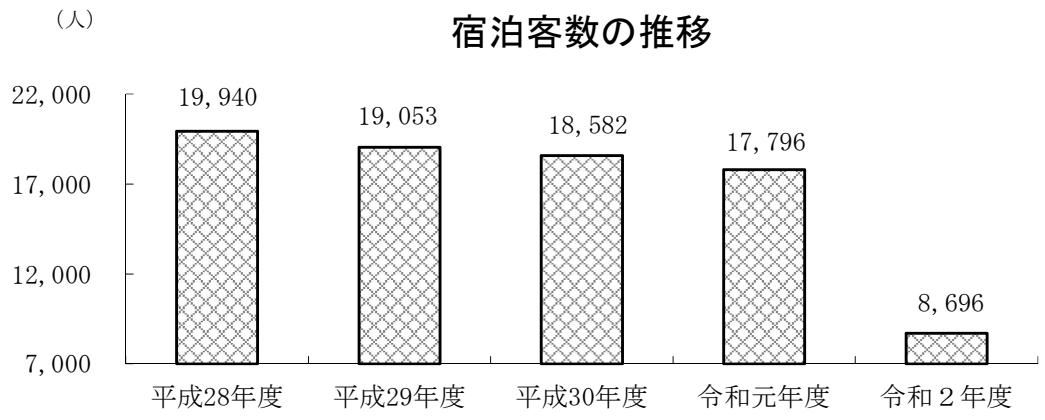
(2) 財務状況

表１　損益計算書

株式会社遠野　　（単位：円、％）

区　　分		令和元年度	令和２年度	前年度比較	
				増減額	増減率
1 収入	(1)売上高	330,916,181	174,449,561	△156,466,620	△47.3
	(2)営業外収益	3,802,835	27,994,096	24,191,261	636.1
	計	334,719,016	202,443,657	△132,275,359	△39.5
2 支出	(1)売上原価	56,360,976	19,267,138	△37,093,838	△65.8
	(2)販売費及び一般管理費	284,648,633	195,297,309	△89,351,324	△31.4
	(3)営業外費用	0	375,275	375,275	皆増
	計	341,009,609	214,939,722	△126,069,887	△37.0
経常利益		△6,290,593	△12,496,065	△6,205,472	△98.6
特別利益		105,992	0	△105,992	皆減
特別損失		0	0	0	0.0
法人税等充当額		543,000	303,000	△240,000	△44.2
法人税等調整額		△1,206,028	0	1,206,028	―
当期純利益		△5,521,573	△12,799,065	△7,277,492	△131.8
前期繰越利益剰余金		6,527,740	1,006,167	△5,521,573	△84.6
次期繰越利益剰余金		1,006,167	△11,792,898	△12,799,065	△1,272.1

（③1104_遠野_損益計算書）



（単位：人、％）

区　　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	前年度比較	増減率
宿泊客数	19,940	19,053	18,582	17,796	8,696	△9,100	△51.1

（③1103_遠野_宿泊客数の推移）

表２　貸借対照表

株式会社遠野

（単位：円、％）

区　　分	令和元年度	令和２年度	前年度比較	
			増減額	増減率
1 資産	264,091,303	256,364,388	△7,726,915	△2.9
(1)流動資産	255,439,941	248,090,678	△7,349,263	△2.9
現金及び預金	238,558,403	223,232,790	△15,325,613	△6.4
売掛金	4,511,589	4,827,359	315,770	7.0
棚卸資産	8,930,615	8,399,741	△530,874	△5.9
立替金	53,576	70,728	17,152	32.0
未収入金	1,224,349	10,862,751	9,638,402	787.2
未収還付法人税等	2,151,908	489,018	△1,662,890	△77.3
前払費用	36,570	237,255	200,685	548.8
貸倒引当金	△27,069	△28,964	△1,895	△7.0
(2)固定資産	8,651,362	8,273,710	△377,652	△4.4
有形固定資産	8,384,742	8,025,590	△359,152	△4.3
無形固定資産	73,500	55,000	△18,500	△25.2
投資その他の資産	193,120	193,120	0	0.0
2 負債	61,485,136	66,557,286	5,072,150	8.2
(1)流動負債	22,590,497	25,157,132	2,566,635	11.4
買掛金	1,069,245	1,039,185	△30,060	△2.8
未払金	4,190,942	5,512,761	1,321,819	31.5
未払費用	8,649,613	10,771,703	2,122,090	24.5
前受金	60,000	20,000	△40,000	△66.7
仮受金	0	17,400	17,400	皆増
未払消費税等	1,922,500	0	△1,922,500	皆減
未払法人税等	1,559,800	634,600	△925,200	△59.3
賞与引当金	3,600,000	5,600,000	2,000,000	55.6
預り金	1,538,397	1,561,483	23,086	1.5
(2)固定負債	38,894,639	41,400,154	2,505,515	6.4
3 純資産	202,606,167	189,807,102	△12,799,065	△6.3
(1)資本金	200,000,000	200,000,000	0	0.0
(2)利益準備金	1,600,000	1,600,000	0	0.0
(3)繰越利益剰余金	1,006,167	△11,792,898	△12,799,065	△1,272.1
負債及び純資産合計	264,091,303	256,364,388	△7,726,915	△2.9

（③1105_遠野_貸借対照表）

２　株式会社遠野テレビ

ＣＡＴＶ「遠野テレビ」を中心としたマルチメディアネットワークの構築によるテレビの難視聴の解消、地震等災害時の緊急対応、多チャンネルテレビや電話、インターネット等の様々なシステムが利用可能な高度情報施設の運営受託を目的として平成12年に設立された会社であり、有線テレビジョン放送事業及び放送施設の管理運営の受託、有線放送電話事業・電気通信事業の受託、映像ソフトの企画制作業務、情報処理サービス業務、テレビ番組・コマーシャルの企画制作等の業務を行っている。

開局から20年目を迎えた令和２年度は「進化する第２ステージ」と位置付けた第２次経営計画実施４年目であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための外出自粛等を背景とした「巣ごもり消費」「巣ごもり生活」及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に伴う４Ｋテレビ普及数増加に起因する「テレビ回帰」の動き等の新たな需要を捉え、加入実績の拡大を図った。さらに、諸イベントが中止や延期となり、「市内で開催される恒例イベントを収録して放送する」という従来のスタイルがとれなくなったことに対しては、本市の魅力を引き出す新たな自主放送企画番組の制作や無観客で行われたイベントの生放送を実施する等、社員全員が知恵を出し合って社内で検討を重ね、市場環境の変化に対応するための課題解決を図った。また、市から受託している遠野テレビ使用料の徴収では、滞納世帯への直接訪問等の取組みにより過去最高の徴収率を達成した。

令和３年３月31日現在のテレビ加入状況は、遠野エリア7,312世帯（前年度比30世帯増、加入率83.5％）、宮守エリア1,542世帯（前年度比４世帯増、加入率99.2％）、合計8,854世帯（加入率85.9％）で前年度から34世帯増加となっている。その一方、死亡や転出、独居利用者の老人福祉施設入所等に伴い視聴を休止するケースが増加し、その数は遠野エリアで1,073世帯（前年度比70世帯増）、宮守エリアで242世帯（前年度比18世帯増）、合計1,315世帯で前年度から88世帯増加となっている。

同じくインターネット加入状況は、遠野エリア3,143世帯（前年度比91世帯増、加入率35.9％）、宮守エリア595世帯（前年度比24世帯増、加入率38.3％）、合計3,738世帯（前年度比115世帯増、加入率36.2％）と増加している。

経営成績は、総収益が275,506千円（前年度268,104千円）で7,402千円（2.8％）増加した。一方、総費用も272,107千円（前年度263,976千円）で8,131千円（3.1％）増加したことから、当期純利益は3,400千円（前年度4,128千円）で729千円（17.7％）の減少となった。これに前期繰越利益剰余金32,432千円と合わせた当期未処分利益は35,831千円、任意積立金60,000千円を加えた利益剰余金は95,831千円となっており、着実に当期純利益及び繰越剰余金を生み出し、経営状態は堅調に推移していると認められた。

なお、難題とされていた市内全域のＦＴＴＨ化が実施可能となり、ポストコロナの新しい日常にも対応できるインフラ整備計画が具体化する。常に市民生活に密着し親しみやすいサービス内容を更に進化させるために、今後高いテレビ加入率（85.9％）に着目した情報通信あるいは見守りサービス等の創造開発にも期待したい。

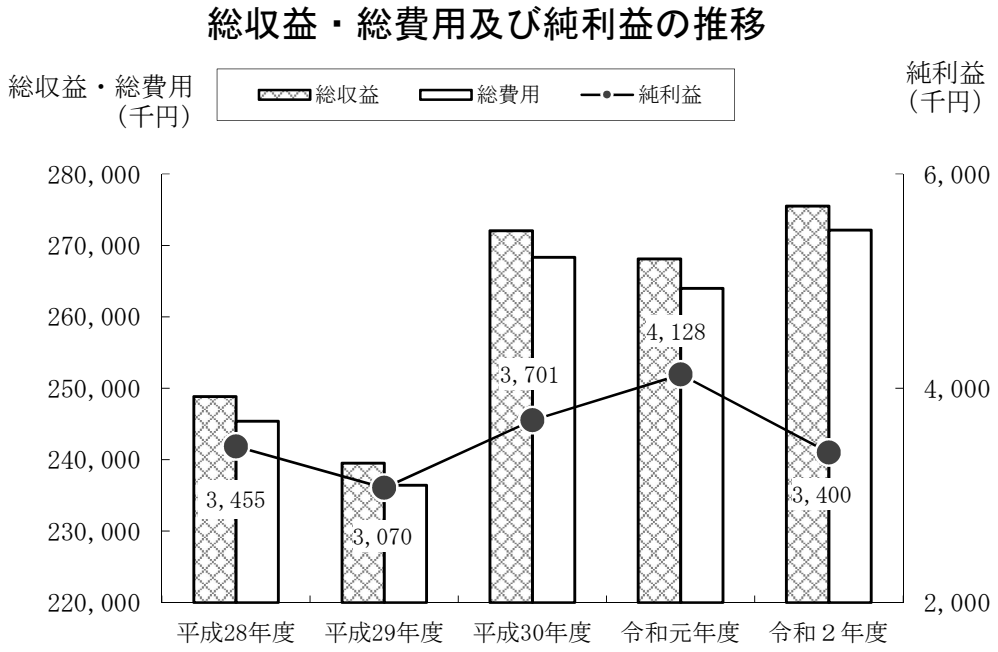
(1) 経営状況

（単位：円、％）

区　　分	令和元年度	令和２年度	前年度比較	
			増減額	増減率
総　収　益	268,104,140	275,506,403	7,402,263	2.8
総　費　用	263,975,753	272,106,899	8,131,146	3.1
当期純利益	4,128,387	3,399,504	△728,883	△17.7

（③1201_遠野テレビ_経営状況）

※　総費用には、法人税等納税充当金を含む。

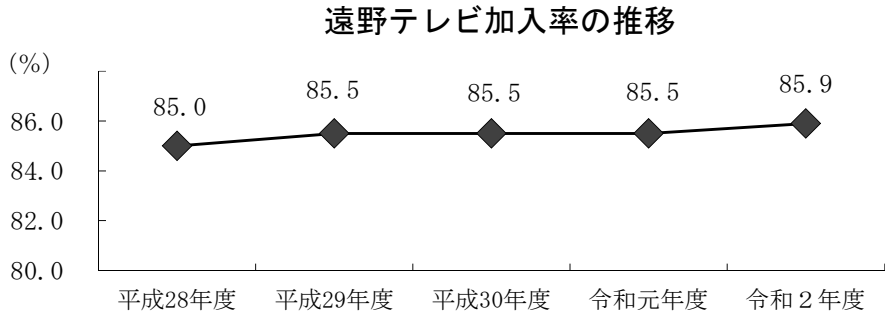


遠野テレビ

（単位：千円）

区　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度
総収益	248,827	239,496	272,019	268,104	275,506
総費用	245,372	236,426	268,318	263,976	272,107
純利益	3,455	3,070	3,701	4,128	3,400

（③1202_遠野テレビ_総収入等の推移）

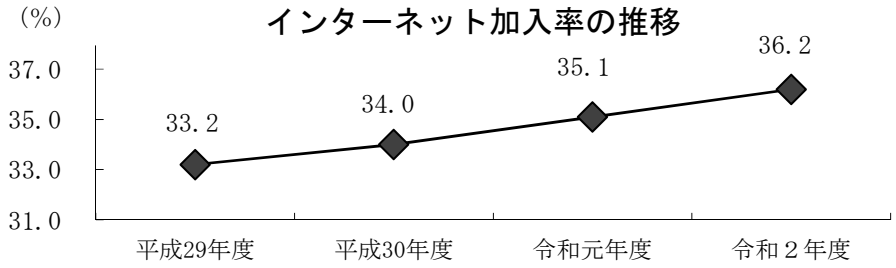


遠野テレビ

（単位：世帯、%）

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	前年度比較	増減率
遠野エリア	対象世帯数	8,758	8,758	8,758	8,758	8,758	0	0.0
	加入世帯数	7,220	7,275	7,281	7,282	7,312	30	0.4
	加入率	82.4	83.1	83.1	83.1	83.5	ポイント 0.4	―
宮守エリア	対象世帯数	1,554	1,554	1,554	1,554	1,554	0	0.0
	加入世帯数	1,545	1,546	1,540	1,538	1,542	4	0.3
	加入率	99.4	99.5	99.1	99.0	99.2	ポイント 0.2	―
合計	対象世帯数	10,312	10,312	10,312	10,312	10,312	0	0.0
	加入世帯数	8,765	8,821	8,821	8,820	8,854	34	0.4
	加入率	85.0	85.5	85.5	85.5	85.9	ポイント 0.4	―

（③1203_遠野テレビ_加入率の推移）



遠野テレビ

（単位：世帯、%）

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	前年度比較	増減率
遠野エリア	対象世帯数	8,758	8,758	8,758	8,758	0	0.0
	加入世帯数	2,912	2,956	3,052	3,143	91	3.0
	加入率	33.2	33.8	34.8	35.9	ポイント 1.1	―
宮守エリア	対象世帯数	1,554	1,554	1,554	1,554	0	0.0
	加入世帯数	513	549	571	595	24	4.2
	加入率	33.0	35.3	36.7	38.3	ポイント 1.6	―
合計	対象世帯数	10,312	10,312	10,312	10,312	0	0.0
	加入世帯数	3,425	3,505	3,623	3,738	115	3.2
	加入率	33.2	34.0	35.1	36.2	ポイント 1.1	―

（③1204_遠野テレビ_インターネット_加入率の推移）

(2) 財務状況

表１　損益計算書

遠野テレビ

（単位：円、％）

区　　分		令和元年度	令和２年度	前年度比較	
				増減額	増減率
1 収入	(1)売上高	266,541,640	273,680,433	7,138,793	2.7
	(2)営業外収益	1,562,500	1,825,970	263,470	16.9
	計	268,104,140	275,506,403	7,402,263	2.8
2 支出	(1)売上原価	122,893,800	132,876,043	9,982,243	8.1
	(2)販売費及び一般管理費	139,423,366	138,076,955	△1,346,411	△1.0
	(3)営業外費用	250,087	0	△250,087	皆減
	計	262,567,253	270,952,998	8,385,745	3.2
経常利益		5,536,887	4,553,405	△983,482	△17.8
特別利益		0	0	0	0.0
特別損失		0	1	1	皆増
法人税等充当額		1,408,500	1,153,900	△254,600	△18.1
当期純利益		4,128,387	3,399,504	△728,883	△17.7
前期繰越利益剰余金		88,303,216	92,431,603	4,128,387	4.7
次期繰越利益剰余金		92,431,603	95,831,107	3,399,504	3.7

（③1205_遠野テレビ_損益計算書）

表２　貸借対照表

遠野テレビ

（単位：円、％）

区　　分	令和元年度	令和２年度	前年度比較	
			増減額	増減率
1 資産	286,787,355	285,035,686	△1,751,669	△0.6
(1)流動資産	242,958,598	241,354,316	△1,604,282	△0.7
現金及び預金	178,220,413	168,288,332	△9,932,081	△5.6
貯蔵消耗品	54,694	84,210	29,516	54.0
商品	1,031,700	511,300	△520,400	△50.4
立替金	72,480	44,164	△28,316	△39.1
未収金	63,392,496	72,809,991	9,417,495	14.9
前払費用	566,815	52,319	△514,496	△90.8
貸倒引当金	△380,000	△436,000	△56,000	△14.7
(2)有形固定資産	43,396,757	43,398,370	1,613	0.0
(3)投 資 等	432,000	283,000	△149,000	△34.5
2 負債	101,355,752	96,204,579	△5,151,173	△5.1
(1)流動負債	55,351,472	51,204,039	△4,147,433	△7.5
未払費用	25,437,097	27,286,662	1,849,565	7.3
前受金	52,200	52,200	0	0.0
預り金	21,838,575	22,305,877	467,302	2.1
未払法人税等	756,300	476,800	△279,500	△37.0
未払消費税等	7,267,300	1,082,500	△6,184,800	△85.1
(2)固定負債	46,004,280	45,000,540	△1,003,740	△2.2
3 純資産	185,431,603	188,831,107	3,399,504	1.8
(1)資 本 金	93,000,000	93,000,000	0	0.0
(2)任意積立金	60,000,000	60,000,000	0	0.0
(3)繰越利益剰余金	32,431,603	35,831,107	3,399,504	10.5
うち当期純利益	4,128,387	3,399,504	△728,883	△17.7
負債及び純資産合計	286,787,355	285,035,686	△1,751,669	△0.6

（③1206_遠野テレビ_貸借対照表）

３　一般社団法人遠野市畜産振興公社

遠野市と花巻農業協同組合が総合的な畜産振興を推進するために設立した牧場、草地、家畜の受託管理施設等の効率的な管理運営等を行う法人であり、平成25年10月１日に一般社団法人に移行した。

「馬の里事業部門」では、競走馬施設管理事業、ホースパーク事業、乗用馬育成事業等を行っており、「馬産地遠野」の伝統を継承するため、福祉・教育・観光の各分野で関係部署と連携して、公益性の高い事業に積極的に取組んでいる。

「放牧事業部門」では、牧場及び草地の管理運営、家畜の受託放牧・管理、キャトルセンターの管理運営、堆肥センターの運営、収益事業等による畜産振興に取組んでいる。

馬の里事業部門と放牧事業部門を合わせた経営成績は、経常・経常外収益が293,156千円（前年度291,218千円）で1,938千円（0.7%）増加したが、経常・経常外費用（法人税等充当金含む）293,341千円（前年度287,999千円）で5,342千円（1.9%）増加し、当期一般正味財産増減額△185千円（前年度3,220千円）で3,404千円（105.7%）減少。これに前期繰越収支差額△62,649千円を加えた次期繰越収支差額は△62,833千円となっている。これは、馬の里事業部門では２年連続での黒字決算であったが、放牧事業部門で馬の里事業部門での利益を超える赤字決算となったことによる。詳細については、事業ごとの記述のとおりである。

【馬の里事業部門】

競走馬施設管理事業では、施設貸出先である(株)遠野トレーニングセンターの令和２年度における月間平均利用実績は前年度と同じ２法人を対象とし、運営が円滑に行われるよう事務的支援を図って55.4頭（前年度52.7頭）と前年度実績より2.7頭/月増加した。また、令和３年３月には令和３年度から５年間の契約更新が行われた。

ホースパーク事業では、新型コロナウイルス感染症の影響で、まちなか馬車運行等の馬の里施設外での馬事イベントは中止され、施設内での「ふれあい体験・引馬利用」及び乗馬教室は継続されたものの、利用者はそれぞれ236人・62人（前年度1,804人・108人）と減少した。なお、馬の里施設内での個別申込みでの乗馬体験等については、可能な限り受け入れを行い、遠野緑峰高校馬事研究会の活動については、学校及び市との連携強化により円滑に推進された。

乗用馬育成事業の馬管理現地指導業務については、継続受託の新潟県粟島浦村に加え、新たに帯広畜産大学から受託したことで受託料は4,969千円（前年度3,500千円）に増加した。前年度と同じ23頭の上場で開催となった遠野市乗用馬市場については、新規購買者の掘り起こしと全国に向けた情報発信のため、覆い馬場内にWi‐Fiを設置してインターネット・ライブ配信及び電話入札の新手法を取り入れた結果、最高価格は前年度並みの2,000千円だったが、購買者数30団体（前年度29団体）、総取引額18,390千円（前年度16,530千円）、平均価格1,081千円（前年度1,033千円）であり、上場23頭に対する売買成立は17頭・売却率73.9%（昨年度16頭・69.6%）と、いずれも前年度を上回った。売買成立の内訳としては、１歳馬が上場頭数14頭に対して令和元年度に引き続き前年度実績を上回る10

頭・売却率71.4％（前年度50.0％）、さらに、基礎調教済み２歳馬も売却率100％と、売却実績が良好だった前年度を更に超える結果で、地道な努力と進取の取組みや工夫が成果となって表れていた。乗用馬預託については、計画していた14頭を確保することはできなかったが、採算性の高い調教馬及び休養馬が８頭（前年度４頭）と増えたことにより増収が図られた。繁殖事業については、前年度４頭（全て生体）だった乗用種雄馬が６頭（うち凍結２頭）となり、昨年９月に日本馬事協会からの貸付で飼養している農用種雄馬１頭（生体　前年度凍結のみ２頭）の計７頭を供用して、種付頭数は乗用34頭（前年度37頭）、農用８頭（前年度５頭）の計42頭（前年度同数）であった。受胎頭数は乗用27頭・受胎率79.4％（前年度25頭・67.6％）、農用５頭・受胎率62.5％（前年度２頭・40.0％）の計32頭・受胎率76.2％（前年度27頭・64.3％）で、平成29年度以来、３年ぶりに国の繁殖改良増殖目標の受胎率（75％）を上回る良好な結果となった。

経営成績では、経常・経常外収益は108,243千円（前年度108,062千円）で181千円（0.2％）増加した。一方、経常・経常外費用（法人税等充当額を含む）は105,102千円（前年度106,132千円）で1,030千円（1.0％）減少した結果、当期一般正味財産増減額は3,141千円（前年度1,930千円）で1,212千円（62.8％）の増加となっている。これに前期繰越収支差額△96,267千円を加えた次期繰越収支差額は△93,126千円となっている。

現状の改善を図るための諸情報の収集と分析、それに基づく新たな試みへの挑戦努力は、事業全般にわたって強まっていると思われた。今後は、公益事業である馬事文化の伝承普及に市民協働の観点からの改善を加え、老朽化した施設の更新を含む中長期的視野に立った事業振興に一層努められたい。

【放牧事業部門】

放射性物質被害対策としての除染工事完了後の放牧再開から、寺沢牧場では６年目、荒川牧場と高清水牧場では５年目となった。全体として黒毛和種など17頭（2.4％）が減少したが、放牧戸数は１戸増加して140戸（前年度139戸）となった。放牧頭数は、寺沢牧場では牛141頭、馬36頭（計177頭）、荒川牧場では牛259頭、馬102頭（計361頭）、高清水牧場では牛100頭、石羽根牧場では馬47頭であり、合計は685頭（昨年度702頭）となった。

キャトルセンター事業では、大野平牧場が成牛264頭（前年度284頭）、哺育・育成320頭（前年度270頭）、石羽根牧場が成牛239頭（前年度256頭）と全体で823頭（前年度810頭）となり13頭（1.6％）増加し、うち農家預託が25頭（3.9％）増加した。また、夏期放牧から継続しての冬期間の預託及び哺育・育成の預託の増加により、両施設とも高い利用率での推移が続いている。

収益事業では、子牛生産販売事業については、上半期の家畜市場の低迷により子牛の平均価格は前年度を下回ったが、畜産クラスター事業で導入した繁殖素牛から生産された子牛頭数がピークを迎え販売頭数が増加したこと等により、64頭（うち成牛13頭・子牛51頭）（前年度59頭　うち成牛15頭・子牛44頭）販売で総額は3,320万円（前年度3,100万円）と前年度を上回った。粗飼料生産販売事業については、天候不順の影響により単価の高いＡランクのロール牧草の生産が計画600個（前年度同数）に対して皆無（前年度595

個）であったことの影響で4,057千円（前年度5,561千円）で1,505千円（27.1％）減少した。受託事業については、市営牧野草地更新作業業務及び利用自粛牧草倉庫内移動業務の新規受託により前年度から3,897千円増加した。

経営成績では、遠野市営牧野指定管理料が放牧料改定見送りに伴う差額の上乗せ分がなくなったことで71,816千円（前年度77,330千円）と5,514千円（7.1％）、粗飼料売上が天候不順での収穫量減少等のため4,057千円（前年度5,561千円）と1,505千円がそれぞれ減少した一方で、放牧利用料が22,399千円（前年度17,625千円）で4,774千円（27.1％）、子牛売上が27,909千円（前年度25,396千円）で2,513千円（9.9％）、キャトルセンター利用料が40,491千円（前年度38,211千円）で2,279千円（6.0％）それぞれ増加した。その結果、経常・経常外収益は184,913千円（前年度183,157千円）で1,756千円（1.0％）増加した。一方、経常・経常外費用（法人税等充当額を含む）は、188,239千円（前年度181,867千円）で6,372千円（3.5％）増加した結果、当期一般正味財産増減額は△3,326千円（前年度1,290千円）で4,616千円（357.9％）の減少となっている。これに前期繰越収支差額33,618千円を加えた次期繰越収支差額は30,292千円となっている。

前年度との比較で実質的に収益が減少した事業は、粗飼料生産販売事業である。当該事業は、市営牧野に係る指定管理者制度の対象業務外の自主事業の位置付けで行われ、市内畜産農家への販売を行っている状況にある。しかし、自主事業であるにもかかわらず、畜産農家からの一定の需要に応える責務を果たす必要があるため、市況価格を反映しない金額での販売が慣例となっている。また、キャトルセンター事業で使用する牧草についても生産を行っているが、天候不順等で生産量が計画に満たない場合には、粗飼料卸業者から調達している状況にある。これにより、ロール牧草の確保ができない事業年度には、仕入れと販売間での価格差損の負担及びキャトルセンターでの飼料の購入の二重損失が生じている。粗飼料生産販売事業を行っている経緯・沿革に照らし、法人の自主事業の位置付けであっても市は積極的に関与し、法人が経営の健全性と安定性を損なうことがないよう協調して取組むことを期待する。

(1) 経営状況

（単位：円、％）

区　分		令和元年度	令和２年度	前年度比較	
				増減額	増減率
経常・経常外収益 A	馬の里	108,061,584	108,243,015	181,431	0.2
	放　牧	183,156,821	184,913,196	1,756,375	1.0
	計	291,218,405	293,156,211	1,937,806	0.7
経常・経常外費用 B	馬の里	106,131,676	105,029,566	△1,102,110	△1.0
	放　牧	181,795,144	188,239,190	6,444,046	3.5
	計	287,926,820	293,268,756	5,341,936	1.9
法人税住民税 C	馬の里	0	72,000	72,000	皆増
	放　牧	72,000	0	△72,000	皆減
	計	72,000	72,000	0	0.0
当期一般正味財産増減額 A－B－C	馬の里	1,929,908	3,141,449	1,211,541	62.8
	放　牧	1,289,677	△3,325,994	△4,615,671	△357.9
	計	3,219,585	△184,545	△3,404,130	△105.7

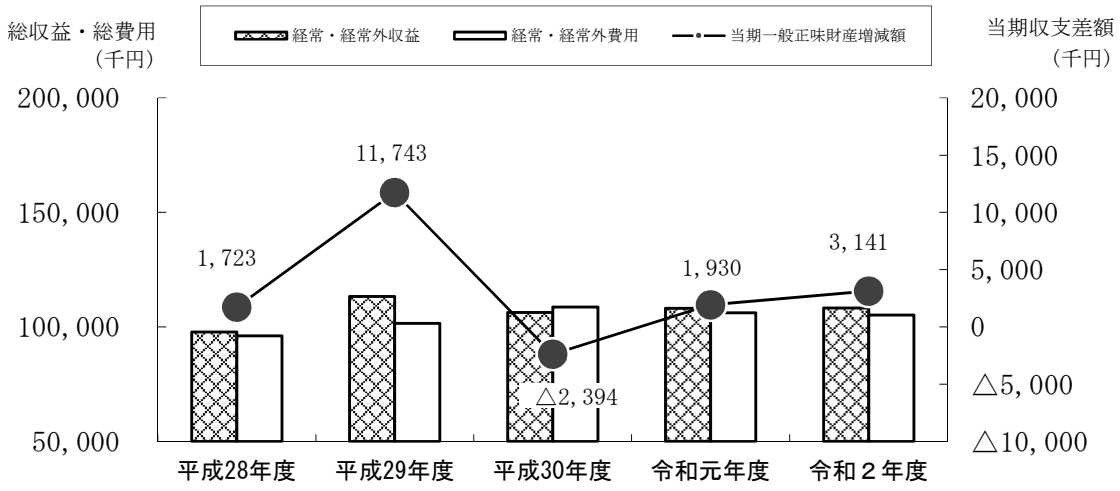
（1301_畜産公社_経営状況）

（単位：円、％）

区　分		令和元年度	令和２年度	前年度比較	
				増減額	増減率
当期一般正味財産増減額	馬の里	1,929,908	3,141,449	1,211,541	62.8
	放　牧	1,289,677	△3,325,994	△4,615,671	△357.9
	計	3,219,585	△184,545	△3,404,130	△105.7
前期繰越収支差額	馬の里	△98,196,872	△96,266,964	1,929,908	2.0
	放　牧	32,328,748	33,618,425	1,289,677	4.0
	計	△65,868,124	△62,648,539	3,219,585	4.9
当期繰越収支差額	馬の里	△96,266,964	△93,125,515	3,141,449	3.3
	放　牧	33,618,425	30,292,431	△3,325,994	△9.9
	計	△62,648,539	△62,833,084	△184,545	△0.3

（③1301-2_畜産公社_経営状況）

収益、費用及び当期一般正味財産増減額の推移（馬の里事業部門）



一般社団法人遠野市畜産振興公社（馬の里部門）

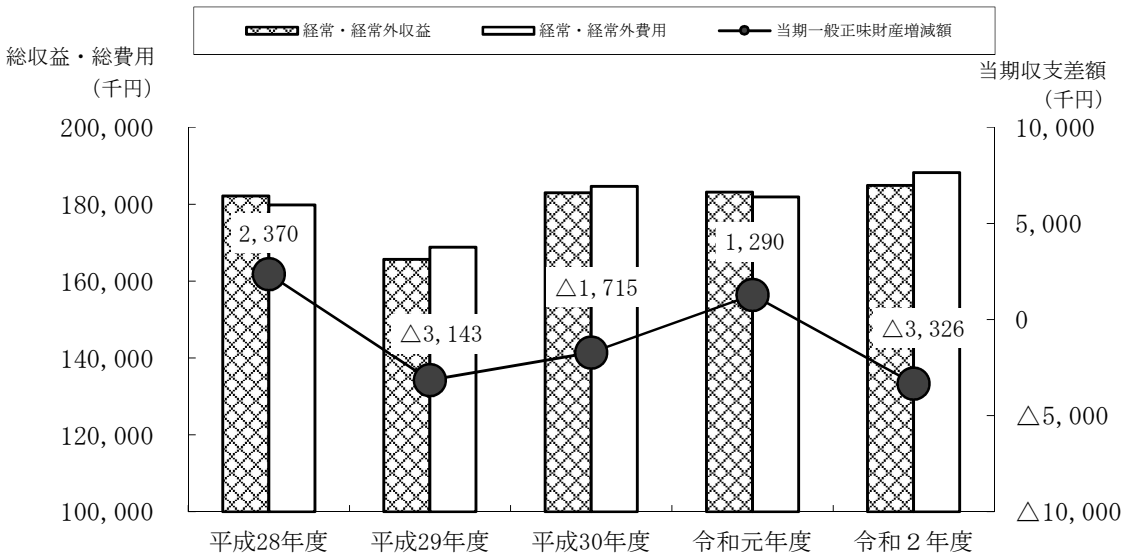
（単位：千円）

区　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度
経常・経常外収益	97,772	113,232	106,315	108,062	108,243
経常・経常外費用	96,049	101,489	108,709	106,132	105,102
当期一般正味財産増減額	1,723	11,743	△2,394	1,930	3,141

※経常・経常外費用には、法人税等納税充当金を含む。

（③1302_畜産公社_総収入等の推移_馬の里事業）

収益、費用及び当期一般正味財産増減額の推移（放牧事業部門）



一般社団法人遠野市畜産振興公社（放牧事業部門）

（単位：千円）

区　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度
経常・経常外収益	182,149	165,679	182,955	183,157	184,913
経常・経常外費用	179,779	168,822	184,670	181,867	188,239
当期一般正味財産増減額	2,370	△3,143	△1,715	1,290	△3,326

※経常・経常外費用には、法人税等納税充当金を含む。

（③1303_畜産公社_総収入等の推移_放牧事業）

(2) 財務状況

表１　正味財産増減計算書【全体】

一般社団法人遠野市畜産振興公社　（単位：円、％）

区　分			令和元年度	令和２年度	前年度比較	
					増減額	増減率
1 経常収益	(1)事業収益	馬の里	51,848,525	53,650,083	1,801,558	3.5
		放　牧	179,683,781	182,333,723	2,649,942	1.5
		計	231,532,306	235,983,806	4,451,500	1.9
	(2)受取補助金	馬の里	55,279,150	54,254,862	△1,024,288	△1.9
		放　牧	870,025	432,436	△437,589	△50.3
		計	56,149,175	54,687,298	△1,461,877	△2.6
	(3)雑収益、貸倒引当金戻入	馬の里	933,909	338,070	△595,839	△63.8
		放　牧	2,603,015	2,147,037	△455,978	△17.5
		計	3,536,924	2,485,107	△1,051,817	△29.7
	計	馬の里	108,061,584	108,243,015	181,431	0.2
		放　牧	183,156,821	184,913,196	1,756,375	1.0
		計	291,218,405	293,156,211	1,937,806	0.7
2 経常費用	(1)事業費	馬の里	17,821,422	18,738,783	917,361	5.1
		放　牧	105,037,755	113,852,499	8,814,744	8.4
		計	122,859,177	132,591,282	9,732,105	7.9
	(2)管理費	馬の里	88,250,541	86,257,066	△1,993,475	△2.3
		放　牧	76,606,218	74,295,348	△2,310,870	△3.0
		計	164,856,759	160,552,414	△4,304,345	△2.6
	(3)貸倒引当金繰入	馬の里	59,699	33,717	△25,982	△43.5
		放　牧	151,171	91,342	△59,829	△39.6
		計	210,870	125,059	△85,811	△40.7
	計	馬の里	106,131,662	105,029,566	△1,102,096	△1.0
		放　牧	181,795,144	188,239,189	6,444,045	3.5
		計	287,926,806	293,268,755	5,341,949	1.9
3 経常外収益		馬の里	0	0	0	0.0
		放　牧	0	0	0	0.0
		計	0	0	0	0.0
4 経常外費用		馬の里	14	0	△14	皆減
		放　牧	0	1	1	皆増
		計	14	1	△13	△92.9
5 法人税、住民税及び事業税		馬の里	0	72,000	72,000	皆増
		放　牧	72,000	0	△72,000	皆減
		計	72,000	72,000	0	0.0
当期一般正味財産増減額		馬の里	1,929,908	3,141,449	1,211,541	62.8
		放　牧	1,289,677	△3,325,994	△4,615,671	△357.9
		計	3,219,585	△184,545	△3,404,130	△105.7
一般正味財産期末残高		馬の里	93,733,036	96,874,485	3,141,449	3.4
		放　牧	93,618,425	90,292,431	△3,325,994	△3.6
		計	187,351,461	187,166,916	△184,545	△0.1

（③1304_畜産公社_正味財産計算書_全体）

表２　正味財産増減計算書【馬の里事業部門】

一般社団法人遠野市畜産振興公社　（単位：円、％）

区　分	令和元年度	令和２年度	比較増減	増減率
Ⅰ　一般正味財産増減の部				
１　経常増減の部				
(1)経常収益	108,061,584	108,243,015	181,431	0.2
事業収益	51,848,525	53,650,083	1,801,558	3.5
競走馬施設賃借料	12,360,000	12,360,000	0	0.0
競走馬施設分担金	6,668,246	6,702,026	33,780	0.5
作業営繕保守管理委託料	11,850,000	11,250,000	△600,000	△5.1
ホースパーク利用料	929,905	341,475	△588,430	△63.3
ホースパークふるさと村受託料	444,456	436,368	△8,088	△1.8
乗用馬預託料等	16,095,918	17,591,215	1,495,297	9.3
その他の事業収益	3,500,000	4,968,999	1,468,999	42.0
受取補助金等	55,279,150	54,254,862	△1,024,288	△1.9
受取地方公共団体補助金（遠野市）	54,032,000	52,927,862	△1,104,138	△2.0
その他の補助金	1,247,150	1,327,000	79,850	6.4
雑収益	906,882	278,371	△628,511	△69.3
貸倒引当金戻入	27,027	59,699	32,672	120.9
(2)経常費用	106,131,662	105,029,566	△1,102,096	△1.0
事業費	17,821,422	18,738,783	917,361	5.1
購入飼料費	7,951,911	8,227,744	275,833	3.5
草地管理費	562,599	656,671	94,072	16.7
消耗品・馬具類	641,094	1,844,775	1,203,681	187.8
衛生費	2,143,990	1,983,017	△160,973	△7.5
診療委託料	600,000	600,000	0	0.0
労務費	2,855,136	3,099,126	243,990	8.5
保険費	487,748	514,741	26,993	5.5
その他の事業費	2,578,944	1,812,709	△766,235	△29.7
管理費	88,250,541	86,257,066	△1,993,475	△2.3
給料手当	44,123,637	41,695,375	△2,428,262	△5.5
福利厚生費	7,660,798	7,763,629	102,831	1.3
水道光熱費	6,858,801	6,498,498	△360,303	△5.3
保守修繕費	5,003,542	6,892,086	1,888,544	37.7
車輌燃料費	578,691	570,169	△8,522	△1.5
損害保険料費	3,283,542	3,085,322	△198,220	△6.0
リース料費	812,955	780,584	△32,371	△4.0
委託費	1,108,639	936,835	△171,804	△15.5
租税公課	4,480,518	4,506,238	25,720	0.6
減価償却費	5,867,400	5,472,291	△395,109	△6.7
その他の管理費	8,472,018	8,056,039	△415,979	△4.9
貸倒引当金繰入	59,699	33,717	△25,982	△43.5
当期経常増減額	1,929,922	3,213,449	1,283,527	66.5
２　経常外増減の部				
(1)経常外収益	0	0	0.0	0.0
(2)経常外費用	14	0	△14	皆減
当期経常外増減額	△14	0	14	100.0
３　法人税、住民税及び事業税	0	72,000	72,000	皆増
当期一般正味財産増減額	1,929,908	3,141,449	1,211,541	62.8
Ⅱ　指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0.0
正味財産期首残高	91,803,128	93,733,036	1,929,908	2.1
正味財産期末残高	93,733,036	96,874,485	3,141,449	3.4

（③1305_畜産公社_正味財産計算書_馬の里）

表３　正味財産増減計算書【放牧事業部門】

一般社団法人遠野市畜産振興公社　（単位：円、％）

区　分	令和元年度	令和２年度	比較増減	増減率
Ⅰ　一般正味財産増減の部				
1　経常増減の部				
(1)経常収益	183,156,821	184,913,196	1,756,375	1.0
事業収益	179,683,781	182,333,723	2,649,942	1.5
遠野市営牧野指定管理料	77,330,069	71,815,760	△ 5,514,309	△ 7.1
放牧利用料	17,624,650	22,398,935	4,774,285	27.1
キャトル利用料	38,211,443	40,490,939	2,279,496	6.0
管外放牧利用料	3,824,954	213,556	△ 3,611,398	△ 94.4
子牛売上	25,396,055	27,909,166	2,513,111	9.9
堆肥センター運営業務受託料	9,253,000	9,363,000	110,000	1.2
その他受託料	0	3,897,000	3,897,000	皆増
粗飼料生産販売事業その他	8,043,610	6,245,367	△ 1,798,243	△ 22.4
受取補助金等	870,025	432,436	△ 437,589	△ 50.3
受取国補助金（中山間）	565,110	0	△ 565,110	皆減
受取地方公共団体補助金（遠野市）	172,700	172,700	0	0.0
その他の補助金	132,215	259,736	127,521	96.4
雑収益	2,431,752	1,995,866	△ 435,886	△ 17.9
貸倒引当金戻入	171,263	151,171	△ 20,092	△ 11.7
(2)経常費用	181,795,144	188,239,189	6,444,045	3.5
事業費	105,037,755	113,852,499	8,814,744	8.4
購入飼料費	32,194,547	39,691,081	7,496,534	23.3
草地管理費	15,011,282	14,060,020	△ 951,262	△ 6.3
賃借料	2,574,856	2,562,756	△ 12,100	△ 0.5
作業委託料	6,293,980	5,856,055	△ 437,925	△ 7.0
労務費	32,818,379	36,605,840	3,787,461	11.5
繁殖牛生産費	1,100,170	2,796,561	1,696,391	154.2
管外放牧料	3,824,950	213,556	△ 3,611,394	△ 94.4
その他の事業費	11,219,591	12,066,630	847,039	7.5
管理費	76,606,218	74,295,348	△ 2,310,870	△ 3.0
給料手当	33,073,218	32,573,750	△ 499,468	△ 1.5
福利厚生費	5,571,915	5,536,558	△ 35,357	△ 0.6
水道光熱費	5,340,861	5,089,080	△ 251,781	△ 4.7
保守修繕費	5,889,446	4,412,041	△ 1,477,405	△ 25.1
車輌燃料費	3,731,436	3,136,717	△ 594,719	△ 15.9
リース料費	15,761,108	16,148,790	387,682	2.5
租税公課	610,078	471,735	△ 138,343	△ 22.7
減価償却費	1,972,075	2,800,172	828,097	42.0
その他の管理費	4,656,081	4,126,505	△ 529,576	△ 11.4
貸倒引当金繰入	151,171	91,342	△ 59,829	△ 39.6
当期経常増減額	1,361,677	△3,325,993	△ 4,687,670	△ 344.3
2　経常外増減の部				
(1)経常外収益	0	0	0	0.0
(2)経常外費用	0	1	1	皆増
当期経常外増減額	0	△1	△ 1	皆減
3　法人税、住民税及び事業税	72,000	0	△ 72,000	皆減
当期一般正味財産増減額	1,289,677	△3,325,994	△ 4,615,671	△ 357.9
Ⅱ　指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0.0
正味財産期首残高	92,328,748	93,618,425	1,289,677	1.4
正味財産期末残高	93,618,425	90,292,431	△ 3,325,994	△ 3.6

（③1306_畜産公社_正味財産計算書_放牧部）

表４　貸借対照表【全体】

一般社団法人遠野市畜産振興公社

（単位：円、％）

区　分			令和元年度	令和２年度	前年度比較	
					増減額	増減率
1 資産	(1)流動資産	馬の里	40,918,720	49,881,369	8,962,649	21.9
		放　牧	88,641,791	84,932,558	△3,709,233	△4.2
		計	129,560,511	134,813,927	5,253,416	4.1
	(2)固定資産	馬の里	54,724,233	49,251,942	△5,472,291	△10.0
		放　牧	7,529,384	6,988,788	△540,596	△7.2
		計	62,253,617	56,240,730	△6,012,887	△9.7
	計	馬の里	95,642,953	99,133,311	3,490,358	3.6
		放　牧	96,171,175	91,921,346	△4,249,829	△4.4
		計	191,814,128	191,054,657	△759,471	△0.4
2 負債	(1)流動負債	馬の里	1,909,917	2,258,826	348,909	18.3
		放　牧	2,552,750	1,628,915	△923,835	△36.2
		計	4,462,667	3,887,741	△574,926	△12.9
	(2)固定負債	馬の里	0	0	0	0.0
		放　牧	0	0	0	0.0
		計	0	0	0	0.0
	計	馬の里	1,909,917	2,258,826	348,909	18.3
		放　牧	2,552,750	1,628,915	△923,835	△36.2
		計	4,462,667	3,887,741	△574,926	△12.9
3 正味財産	(1)一般正味財産	馬の里	93,733,036	96,874,485	3,141,449	3.4
		放　牧	93,618,425	90,292,431	△3,325,994	△3.6
		計	187,351,461	187,166,916	△184,545	△0.1
負債及び正味財産合計		馬の里	95,642,953	99,133,311	3,490,358	3.6
		放　牧	96,171,175	91,921,346	△4,249,829	△4.4
		計	191,814,128	191,054,657	△759,471	△0.4

（③1307_畜産公社_貸借対照表_全体）

表５　貸借対照表【馬の里事業部門】

一般社団法人遠野市畜産振興公社　　（単位：円、％）

区　分	令和元年度	令和２年度	前年度比較	
			増減額	増減率
1 資産	95,642,953	99,133,311	3,490,358	3.6
(1)流動資産	40,918,720	49,881,369	8,962,649	21.9
預金・現金	31,326,922	44,347,625	13,020,703	41.6
貸倒引当金	△ 59,699	△ 33,717	25,982	43.5
貯蔵金（棚卸資産）	438,550	265,925	△172,625	△39.4
未収金	9,212,947	5,301,536	△3,911,411	△42.5
(2)固定資産	54,724,233	49,251,942	△5,472,291	△10.0
建物	13,386,650	10,968,700	△2,417,950	△18.1
構築物	37,076,714	34,852,231	△2,224,483	△6.0
機械及び装置	3,940,124	3,298,788	△641,336	△16.3
その他の資産	320,745	132,223	△188,522	△58.8
2 負債	1,909,917	2,258,826	348,909	18.3
(1)流動負債	1,909,917	2,258,826	348,909	18.3
未払金	1,909,917	2,252,813	342,896	18.0
前受金・仮受金	0	6,013	6,013	皆増
(2)固定負債	0	0	0	0.0
3 正味財産	93,733,036	96,874,485	3,141,449	3.4
(1)一般正味財産	93,733,036	96,874,485	3,141,449	3.4
負債及び正味財産合計	95,642,953	99,133,311	3,490,358	3.6

（③1308_畜産公社_貸借対照表_馬の里事業）

表６　貸借対照表【放牧事業部門】

一般社団法人遠野市畜産振興公社　（単位：円、％）

区　分	令和元年度	令和２年度	前年度比較	
			増減額	増減率
1 資産	96,171,175	91,921,346	△4,249,829	△4.4
(1)流動資産	88,641,791	84,932,558	△3,709,233	△4.2
預金・現金	65,155,631	66,790,609	1,634,978	2.5
貸倒引当金	△151,171	△91,342	59,829	39.6
貯蔵金（棚卸資産）	306,000	3,870,000	3,564,000	1,164.7
未収金	23,328,931	14,362,091	△8,966,840	△38.4
立替金	2,400	1,200	△1,200	△50.0
(2)固定資産	7,529,384	6,988,788	△540,596	△7.2
建物	2	2	0	0.0
機械及び装置	7,402,040	6,829,140	△572,900	△7.7
車両運搬具	7	45,461	45,454	649,342.9
その他の資産	127,335	114,185	△13,150	△10.3
2 負債	2,552,750	1,628,915	△923,835	△36.2
(1)流動負債	2,552,750	1,628,915	△923,835	△36.2
未払金	2,535,700	1,515,900	△1,019,800	△40.2
前受金・仮受金	17,050	113,015	95,965	562.8
(2)固定負債	0	0	0	0.0
3 正味財産	93,618,425	90,292,431	△3,325,994	△3.6
(1)一般正味財産	93,618,425	90,292,431	△3,325,994	△3.6
負債及び正味財産合計	96,171,175	91,921,346	△4,249,829	△4.4

（③1309_畜産公社_貸借対照表_放牧事業）

4　一般社団法人遠野ふるさと公社

遠野市並びに市内の産業団体及び産業人の有機的な結合により、豊富な素材と資源を活用し、地域の独自性を生かした特産品の開発、流通の拡充及び地場産業の振興並びに就業機会の増大を図ることによって地域経済の活性化及び市民福祉の増進に資することを目的に、遠野市、花巻農業協同組合及び遠野商工会で構成された法人であり、平成25年４月３日に一般社団法人へ移行した。

平成27年度から、遠野市情報交流センター（遠野風の丘）、たかむろ水光園、遠野ふるさと村及び伝承園の各施設について、指定管理者制度に基づく指定管理者となっていたが、令和元年度に「営利部門は株式会社化・公益要素が高い部門は一般社団法人へと事業分割・整理」を掲げて着手した経営改善３カ年計画の工程に基づき、昨年６月30日限りで遠野風の丘、伝承園及び営業販売部の３部門を株式会社遠野ふるさと商社へ事業譲渡及び全従業員が転籍し、その後は同社から必要な人員の出向を受けて運営している。

令和２年度は、全都道府県を対象とした新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言期間が、年間で最も入込・売上が期待できるゴールデンウイークと重なったことや感染拡大で外出自粛が長期化したこと、冬期には例年にない積雪と低温が重なったこと等により、いずれの施設における入込数・売上額とも前年度実績を大きく下回った。

各施設別の入込数のうち、ふるさと商社へ事業譲渡した２施設の４月から６月までの３か月間の状況については、伝承園1,210人、風の丘137,625人であり、これ以外の通年で経営した施設については、ふるさと村9,962人（前年度26,441人、62.3％減少）、たかむろ水光園45,231人（前年度66,545人、32.0％減少）で、合計では194,028人となっている。

部門別売上は、売店部門の５施設及び販売部門４事業の合計で40,272千円（前年度276,220千円）、食堂部門は４施設で26,130千円（前年度135,325千円）となっている。

指定管理・受託事業では、遠野市から管理を委託された４施設の指定管理料として46,465千円（前年度37,409千円）、遠野市ふるさと納税返礼品発送等業務、友好都市等交流事業物産販売業務、さわやかトイレ等清掃業務等の合計で9,540千円（前年度36,834千円）の収入があった。

経営成績では、総収益は174,105千円（前年度688,752千円）で514,647千円（74.7％）減少した。一方、総費用は198,619千円（前年度706,501千円）で507,882千円（71.9％）減少した結果、当期収支差額は△24,513千円（前年度△17,749千円）で6,764千円（38.1％）の減少となっており、累積欠損額は前年度69,255千円から93,769千円へと増加した。

なお、新型コロナウイルス感染症による収支状況の悪化に伴い資金繰りが困難になったため、日本政策金融公庫及び岩手銀行株式会社から合計4,000万円の融資を受けているほか、市から2,000万円の貸付を受けている。

７月の事業譲渡後も引き続き管理運営している２施設は黒字化が難しい施設であるが、７月以降に開催されたイベントの告知や展開等には今までにない目新しさや工夫が見られたことから、「永遠の日本のふるさと遠野」を象徴する両施設の潜在価値の掘り起こしや利用者数増加に向けた創意工夫と努力の継続に期待したい。

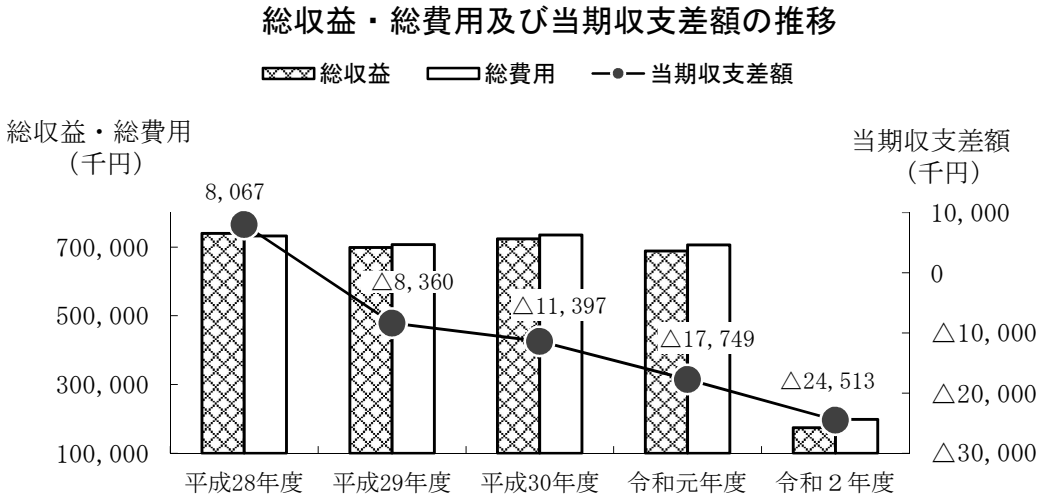
(1) 経営状況

（単位：円、％）

区　　分	令和元年度	令和２年度	前年度比較	
			増減額	増減率
総　収　益	688,752,028	174,105,329	△514,646,699	△74.7
総　費　用	706,501,024	198,618,786	△507,882,238	△71.9
当期収支差額	△17,748,996	△24,513,457	△6,764,461	38.1

（③1401_ふるさと公社_経営状況）

※　総費用には、法人税等納税充当金を含む。

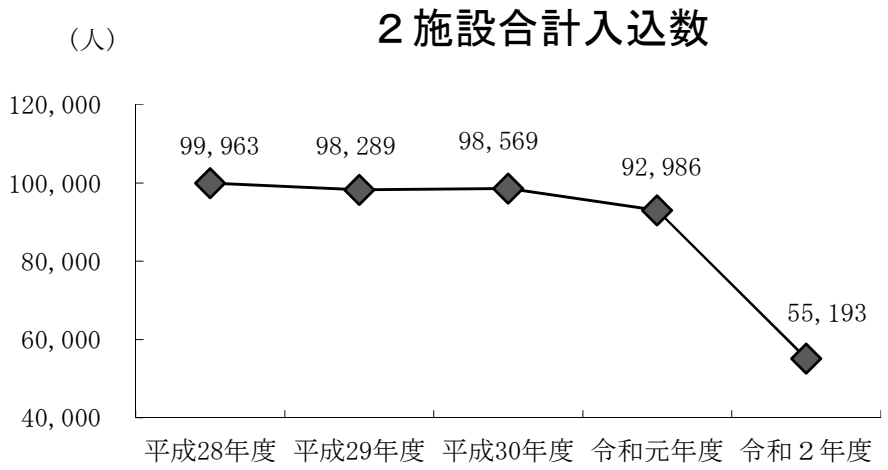


一般社団法人遠野ふるさと公社

（単位：千円）

区　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度
総収益	740,289	698,657	723,848	688,752	174,105
総費用	732,222	707,017	735,245	706,501	198,619
当期収支差額	8,067	△8,360	△11,397	△17,749	△24,513

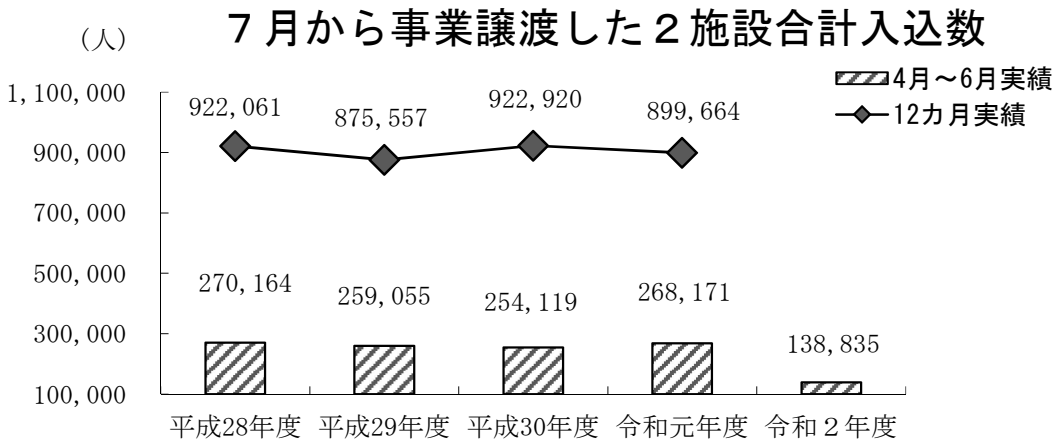
（③1402_ふるさと公社_総収入等の推移）



一般社団法人遠野ふるさと公社　　（単位：人、％）

区分		入込数					前年度比較	
No.	施設名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	増減	増減率
1	ふるさと村	31,186	29,974	29,577	26,441	9,962	△16,479	△62.3
2	たかむろ水光園	68,777	68,315	68,992	66,545	45,231	△21,314	△32.0
計		99,963	98,289	98,569	92,986	55,193	△37,793	△40.6

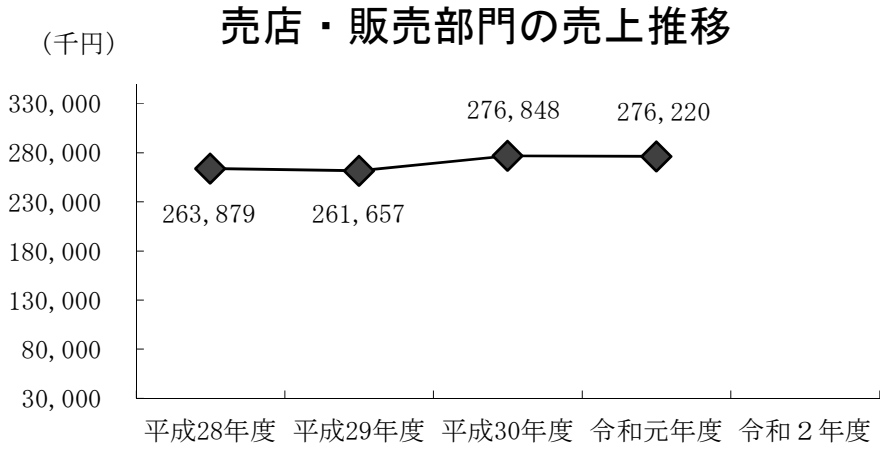
（③1403_ふるさと公社_01入込数）



【参考】一般社団法人遠野ふるさと公社（７月から事業譲渡した２施設）　　（単位：人、％）

区分		入込数					前年度比較	
No.	施設名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	増減	増減率
1	風の丘	881,324	836,829	885,187	856,065	―	―	―
	うち４月～６月	257,599	246,835	242,635	253,272	137,625	△115,647	△45.7
2	伝承園	40,737	38,728	37,733	43,599	―	―	―
	うち４月～６月	12,565	12,220	11,484	14,899	1,210	△13,689	△91.9
計		922,061	875,557	922,920	899,664	―	―	―
	うち４月～６月	270,164	259,055	254,119	268,171	138,835	△129,336	△48.2

（③1403_ふるさと公社_01入込数）



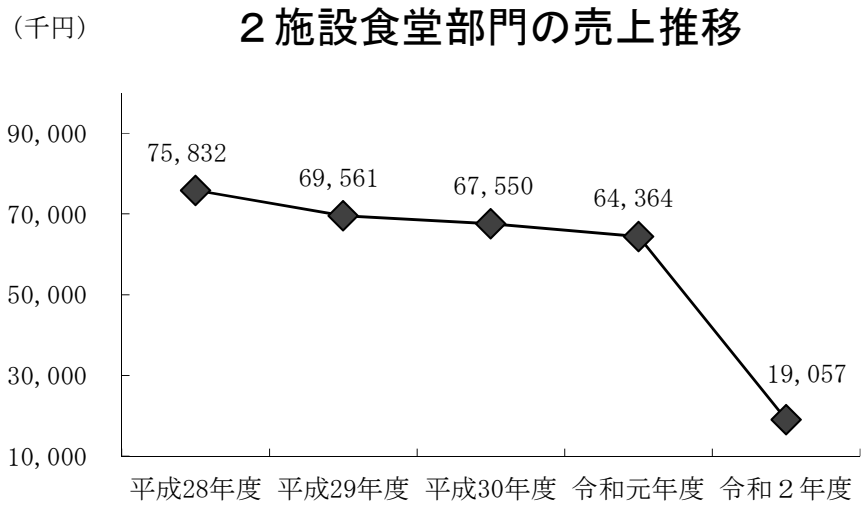
一般社団法人遠野ふるさと公社

（単位：千円、％）

区分			売店・販売部門の売上推移					前年度比較	
No.		施設名等	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	増減	増減率
1	売店部門	伝承園	15,520	15,873	16,225	17,545	916	―	―
2		ふるさと村	11,002	11,320	10,430	8,984	252	△8,732	△97.2
3		風の丘	183,130	169,896	177,661	170,408	19,510	―	―
4		たかむろ水光園	8,299	8,678	10,586	12,659	6,724	△5,935	△46.9
5		盛岡店	-	462	14,314	16,554	9,239	―	―
6	販売部門	宣伝販売	12,565	16,505	14,878	19,054	1,459	―	―
7		ふるさと会員	18,470	23,799	20,620	19,210	1,182	―	―
8		物産フェア	7,291	8,050	6,375	6,530	0	―	―
9		武蔵野店	7,602	7,074	5,759	5,276	990	―	―
計			263,879	261,657	276,848	276,220	―	―	―

（③1404_ふるさと公社_02売店・販売）

（注）「伝承園」と「風の丘」の令和２年度については、「4月～6月」の３カ月間の金額である。
（注）「販売部門」の令和２年度については、「4月～6月」の３カ月間の金額である。
（注）売店部門で令和元年度分まで計上していた「盛岡南店（イオン）」は、項目を削除した。
（注）販売部門で令和元年度分まで計上していた「配送部門」は、項目を削除した。



一般社団法人遠野ふるさと公社

（単位：千円、％）

区分		食堂部門の売上推移					前年度比較	
No.	施設名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	増減	増減率
1	ふるさと村	18,315	16,431	15,473	14,917	2,455	△12,462	△83.5
2	たかむろ水光園	57,517	53,130	52,077	49,447	16,602	△32,845	△66.4
計		75,832	69,561	67,550	64,364	19,057	△45,307	△70.4

（③1405_ふるさと公社_03食堂）

(2) 財務状況

表１　損益計算書

一般社団法人遠野ふるさと公社

（単位：円、％）

区　　分		令和元年度	令和２年度	前年度比較	
				増減額	増減率
１収入	(1)事業収入	677,413,500	158,314,111	△519,099,389	△76.6
	(2)事業外収入	11,127,925	15,691,161	4,563,236	41.0
	計	688,541,425	174,005,272	△514,536,153	△74.7
２支出	(1)事業支出	705,999,227	198,206,632	△507,792,595	△71.9
	(2)事業外支出	370,726	327,654	△43,072	△11.6
	計	706,369,953	198,534,286	△507,835,667	△71.9
収支差額		△17,828,528	△24,529,014	△6,700,486	37.6
特別利益		210,603	100,057	△110,546	△52.5
特別損失		0	0	0	0.0
法人税等納税充当金		131,071	84,500	△46,571	△35.5
当期収支差額		△17,748,996	△24,513,457	△6,764,461	38.1
前期繰越収支差額		△51,506,378	△69,255,374	△17,748,996	34.5
次期繰越収支差額		△69,255,374	△93,768,831	△24,513,457	35.4

（③1408_ふるさと公社_損益計算書）

表２　貸借対照表

一般社団法人遠野ふるさと公社　　（単位：円、％）

区　　分	令和元年度	令和２年度	前年度比較	
			増減額	増減率
1 資産	67,740,995	47,085,987	△20,655,008	△30.5
(1)流動資産	60,257,445	45,299,517	△14,957,928	△24.8
現金預金	33,244,587	28,765,666	△4,478,921	△13.5
売掛金	9,298,589	4,093,961	△5,204,628	△56.0
商品	6,797,639	530,917	△6,266,722	△92.2
仕掛品	2,229,394	769,112	△1,460,282	△65.5
立替金	84,417	122,760	38,343	45.4
貯蔵品	2,820,918	1,078,222	△1,742,696	△61.8
未収金	5,439,388	9,722,919	4,283,531	78.8
前払費用	499,570	272,960	△226,610	△45.4
貸倒引当金	△157,057	△57,000	100,057	63.7
(2)固定資産	7,483,550	1,786,470	△5,697,080	△76.1
建物付属設備	13,458,000	3,930,000	△9,528,000	△70.8
構築物	2,152,200	0	△2,152,200	皆減
工具器具備品	17,207,087	3,543,093	△13,663,994	△79.4
リース資産	3,966,000	0	△3,966,000	皆減
減価償却累計額	△30,591,436	△6,406,542	24,184,894	377.5
無形固定資産	0	580,000	580,000	皆増
電話加入権	89,919	89,919	0	0.0
投資有価証券	0	50,000	50,000	皆増
保証金	1,201,780	0	△1,201,780	皆減
2 負債	65,996,369	69,854,818	3,858,449	5.8
(1)流動負債	65,996,369	9,854,818	△56,141,551	△85.1
買掛金	14,059,809	2,474,917	△11,584,892	△82.4
未払金	30,378,216	6,603,987	△23,774,229	△78.3
預り金	478,580	0	△478,580	皆減
仮受金	16,398,964	691,414	△15,707,550	△95.8
未払法人税等	122,000	84,500	△37,500	△30.7
未払消費税	4,558,800	0	△4,558,800	皆減
(2)固定負債	0	60,000,000	60,000,000	皆増
長期借入金	0	60,000,000	60,000,000	皆増
3 正味財産	1,744,626	△22,768,831	△24,513,457	△1,405.1
(1)一般正味財産	1,744,626	△22,768,831	△24,513,457	△1,405.1
（うち基本金）	71,000,000	71,000,000	0	0.0
負債及び正味財産合計	67,740,995	47,085,987	△20,655,008	△30.5

（③1409_ふるさと公社_貸借対照表）

5　一般社団法人遠野わさび公社

地域に適した優良なわさび苗の開発、生産及び供給と流通に係る調査研究、わさびを活用した特産品の研究開発、生産技術の指導、公共施設の管理受託等、地域の産業振興と活性化を目的に設立された法人であり、平成25年４月１日の一般社団法人への移行時に「社団法人宮守わさびバイオテクノロジー公社」から名称を変更した。

遠野市進化まちづくり検証委員会による第三セクター等検証結果報告書に基く経営改革のため、法人発足時からの公益目的である「わさび苗の生産供給」に加え、新たに収益目的で「根わさび生産販売」に取組み９年が経過した。公益目的と収益目的を合わせた事業収入の金額は、平成24年度当初の4,346千円から令和元年度には開始後最高の12,418千円となり、昨年度も10,261千円と１千万円を超えた。しかし、安定的に生産・供給できる体制になく、事業収入の先行きは不安定である。

わさび苗の生産供給では、市内・県内外の根わさび・畑わさび生産者からの受注及び公社での事業使用分を考え合わせて、クローン苗、実生苗及び分根苗を合計53,230本（前年度102,600本　49,370本減）生産及び23,288本（前年度24,200本）仕入れ、そのうち総販売本数は47,282本（前年度78,163本　30,881本減）だったが、これは市外からの受注が22,598本減少したことが大きく影響した。また、前年度と比較して、市内へのクローン苗販売では933千円・81.8%、市外への実生苗の販売では1,544千円・91.8%減少したうえ、市内への分根苗及び市外へのクローン苗と種子の販売が皆無であったことから、販売額は1,784千円（前年度4,787千円）で3,002千円（62.7%）減少する結果となった。

根わさび生産販売では、全都道府県を対象とした新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言によって市況低迷が続いたことから、当初計画の豊洲市場への定期出荷を単価が安定している加工用へと出荷先を変更して収入確保に努めた。また、12月は市況が持ち直したことにより、根わさびの年度内平均単価は前年度並みとなったことで、全体出荷量10,280kg（前年度7,918kg）、販売額8,477千円（前年度7,639千円）となり837千円（2,362kg）増加した。

経営成績では、国等の新型コロナウイルス感染症に係る経済・雇用対策としての事業継続支援があって、総収益は26,032千円（前年度21,815千円）で4,217千円（19.3%）増加した。一方、総費用も24,354千円（前年度22,290千円）で2,063千円（9.3%）増加し、当期収支差額は1,679千円（前年度△475千円）で2,154千円（453.2%）の増加となった。これに前期繰越収支差額△258千円を加えた次期繰越収支差額は1,421千円となった。

わさび苗の生産供給においては、生産に要した原価を下回る価格で販売が行われており、また、長らく価格見直し・価格が妥当であることの検証が行われていない状況にある。ポストコロナの需要回復後にあっては、生産量の拡大に比例して欠損が増加する構図となっていることから、毎年度、市況や需要、生産原価を考えあわせて価格を決定し、一層の経営健全化が図られることを期待する。

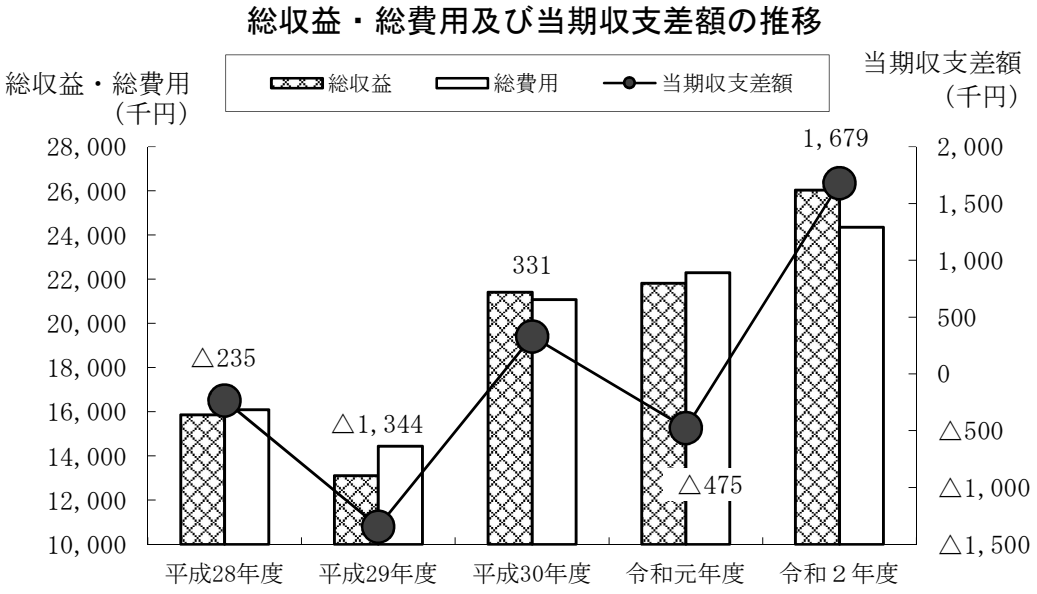
(1) 経営状況

（単位：円、％）

区　　分	令和元年度	令和２年度	前年度比較	
			増減額	増減率
総　収　益	21,815,121	26,032,432	4,217,311	19.3
総　費　用	22,290,496	24,353,537	2,063,041	9.3
当期収支差額	△475,375	1,678,895	2,154,270	453.2

（③1501_わさび公社_経営状況）

※　総費用には、法人税等納税充当金を含む。



一般社団法人遠野わさび公社

（単位：千円）

区　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度
総収益	15,860	13,098	21,408	21,815	26,032
総費用	16,095	14,442	21,077	22,290	24,354
当期収支差額	△235	△1,344	331	△475	1,679

（③1502_わさび公社_総収入等の推移）

(2) 財務状況

表１　損益計算書

一般社団法人遠野わさび公社　　（単位：円、％）

区　　分			令和元年度	令和２年度	前年度比較	
					増減額	増減率
1 収入	(1)事業収入		12,418,340	10,260,760	△2,157,580	△17.4
	(2)基本財産運用収入		22	15	△7	△31.8
	(3)営業外収益		9,396,759	15,771,657	6,374,898	67.8
		補助金収入	9,376,000	15,313,840	5,937,840	63.3
		雑収入	20,759	457,817	437,058	2,105.4
	計		21,815,121	26,032,432	4,217,311	19.3
2 支出	(1)事業費		12,940,637	15,048,405	2,107,768	16.3
	(2)管理費		9,277,859	9,233,132	△44,727	△0.5
	(3)法人税等納税充当金		72,000	72,000	0	0.0
	計		22,290,496	24,353,537	2,063,041	9.3
当期収支差額			△475,375	1,678,895	2,154,270	453.2
前期繰越収支差額			217,350	△258,025	△475,375	△218.7
次期繰越収支差額			△258,025	1,420,870	1,678,895	650.7

(③1503_わさび公社_損益計算書)

表２　貸借対照表

一般社団法人遠野わさび公社　　（単位：円、％）

区　　分	令和元年度	令和２年度	前年度比較	
			増減額	増減率
1 資産	6,277,947	9,841,314	3,563,367	56.8
(1)流動資産	4,840,687	8,348,177	3,507,490	72.5
現金及び預金	228,340	2,177,654	1,949,314	853.7
売掛金	1,052,265	1,059,472	7,207	0.7
仕掛品	3,413,911	3,628,248	214,337	6.3
前払費用	140,000	350,000	210,000	150.0
未収入金	6,171	960,003	953,832	15,456.7
積立金	0	172,800	172,800	皆増
(2)有形固定資産	1,437,260	1,493,137	55,877	3.9
構築物	1,075,243	948,363	△126,880	△11.8
工具器具備品	352,017	290,641	△61,376	△17.4
投資その他の資産	10,000	254,133	244,133	2,441.3
2 負債	1,535,972	3,420,444	1,884,472	122.7
(1)流動負債	1,535,972	3,420,444	1,884,472	122.7
買掛金	160,869	296,287	135,418	84.2
未払費用	1,292,701	424,350	△868,351	△67.2
前受金	0	2,640,000	2,640,000	皆増
未払法人税等	72,000	72,000	0	0.0
預り金	10,402	△12,193	△22,595	△217.2
3 純資産	4,741,975	6,420,870	1,678,895	35.4
(1)資本金	5,000,000	5,000,000	0	0.0
(2)利益剰余金	△258,025	1,420,870	1,678,895	650.7
負債及び純資産合計	6,277,947	9,841,314	3,563,367	56.8

（③1504_わさび公社_貸借対照表）

６　株式会社遠野ふるさと商社

一般社団法人遠野ふるさと公社（以下「公社」という。）の経営改革を実行することを目的に、令和２年２月21日に遠野市の出資により株式会社ＴＦＫとして設立した法人で、令和２年５月20日に現在の名称に商号変更した。

令和２年７月１日、公社が行っていた遠野市情報交流センター（遠野風の丘）及び伝承園の指定管理者制度に基づく管理運営、遠野市ふるさと納税返礼品発送等業務等の市からの各種受託業務、営業販売（地域商社）事業の譲渡を受けて本格的に事業を開始した。

令和２年度は、「遠野風の丘（以下「風の丘」という。）」のリニューアル工事に伴う仮設店舗営業での売り場面積の大幅な縮小や新型コロナウイルス感染症拡大によって多大な影響を受ける等、管理運営する２施設の入込数は公社の前年度実績と比較して４～５割減少するなど厳しい営業展開を余儀なくされたが、収入の減少に対して雇用調整助成金を活用して人件費の補填を図ったほか、冬期には市内企業等へ期間限定で従業員を在籍出向させることで閑散期の収入確保に努めた。

公社から事業譲渡を受けた施設の７月から３月までの９カ月間の入込の状況については、風の丘353,913人（公社の前年度同期実績602,793人）、伝承園13,680人（公社の前年度同期実績28,700人）となっている。

部門別売上げは、売店部門の３施設及び販売部門４事業の合計で164,428千円、食堂部門は２施設で21,783千円となっている。

指定管理・受託事業では、公社から引き継いだ２施設の指定管理料として15,961千円、同じく引き継いだ又は新たに受託した遠野市ふるさと納税返礼品発送等業務、友好都市等交流事業物産販売業務、さわやかトイレ等清掃業務等及び高齢者等生活物資支援事業業務、地場産品販路拡大業務、地域未来投資産学官共同事業業務等並びに従業員の雇用調整に伴う出向先からの負担金、公社事務負担手数料等の合計で88,650千円の収入があった。

その他、道の駅魅力アップ事業費補助金4,500万円、ふるさと未来投資支援事業費補助金（クラウドファンディング型ふるさと納税（ふるさと起業家支援プロジェクト））11,672千円の収入があった。

経営成績は、総収益343,170千円、総費用359,406千円、当期純利益△16,236千円であったが、前述の市補助金等56,672千円について、風の丘リニューアル工事に伴なう固定資産の取得に充てられており、補助金受入れの効果をより高めるため圧縮記帳をして令和２年度で全額を特別損失に計上することを選択したことで、当期決算は赤字となった。

新会社遠野ふるさと商社の本格始動による観光振興・物産振興は、初年度コロナ禍による人流・物流の減少、経済活動低下の影響を大きく受けた形となった。

新しい日常への対応が要求されるポストコロナの展開において、「永遠の日本のふるさと遠野」のもの・人・文化に着目してビジネスに取組む地域商社としての機能が、十二分に発揮されることを改めて期待したい。

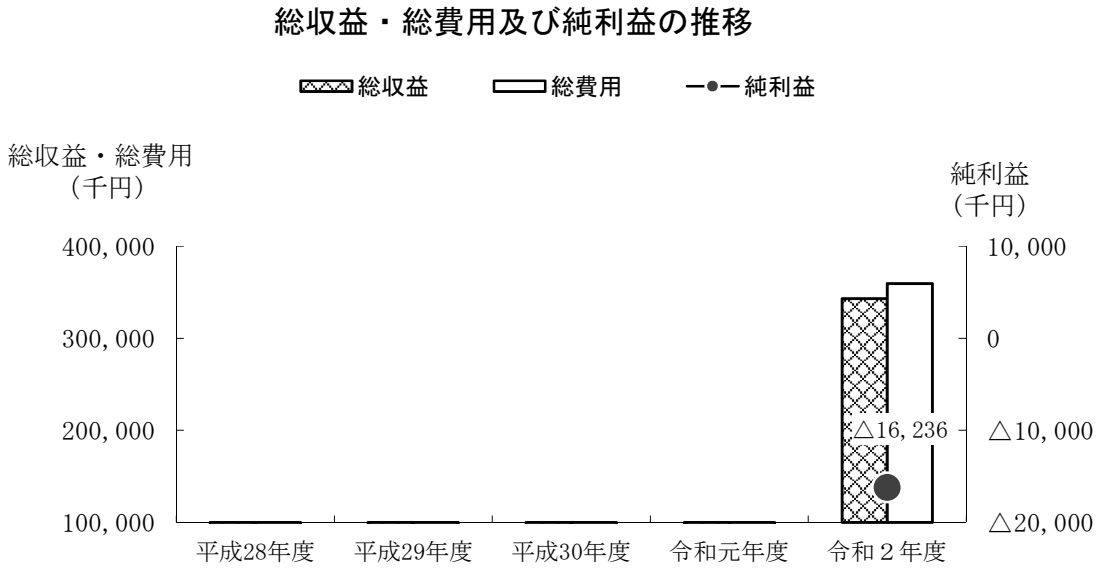
(1) 経営状況

（単位：円、％）

区　　分	令和元年度	令和２年度	前年度比較	
			増減額	増減率
総　収　益	－	343,169,807	－	－
総　費　用	－	359,406,017	－	－
当期純利益	－	△16,236,210	－	－

（③1601_ふるさと商社_経営状況）

※　総費用には、法人税等充当額を含む。

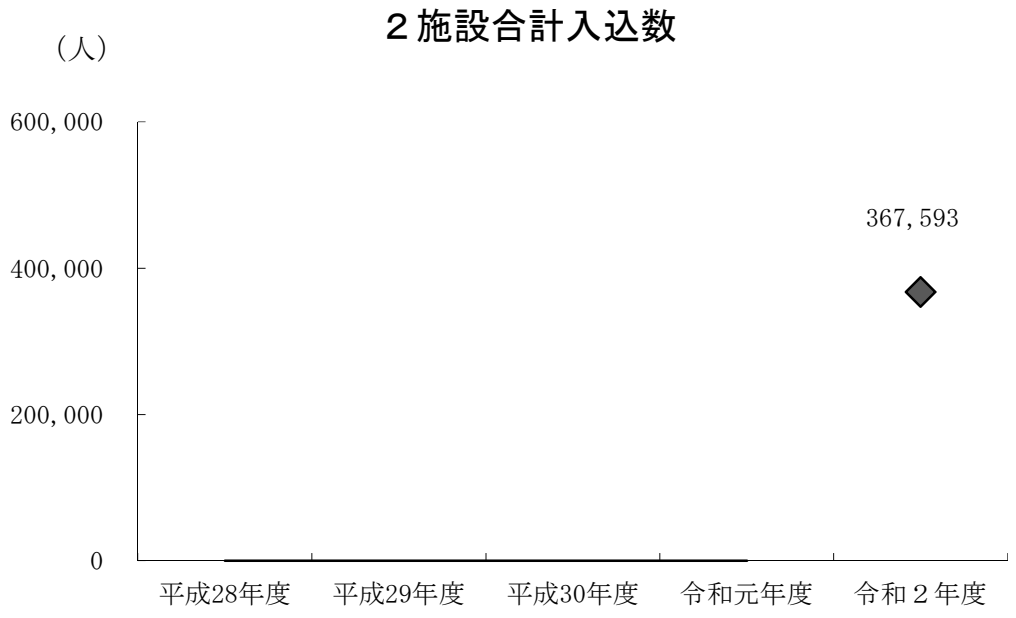


株式会社遠野ふるさと商社

（単位：千円）

区　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度
総収益	－	－	－	－	343,170
総費用	－	－	－	－	359,406
純利益	－	－	－	－	△16,236

（③1602_ふるさと商社_総収入等の推移）



株式会社遠野ふるさと商社

（単位：人、％）

区分		入込数					前年度比較	
№.	施設名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	増減	増減率
1	伝承園	－	－	－	－	13,680	－	－
2	風の丘	－	－	－	－	353,913	－	－
計		－	－	－	－	367,593	－	－

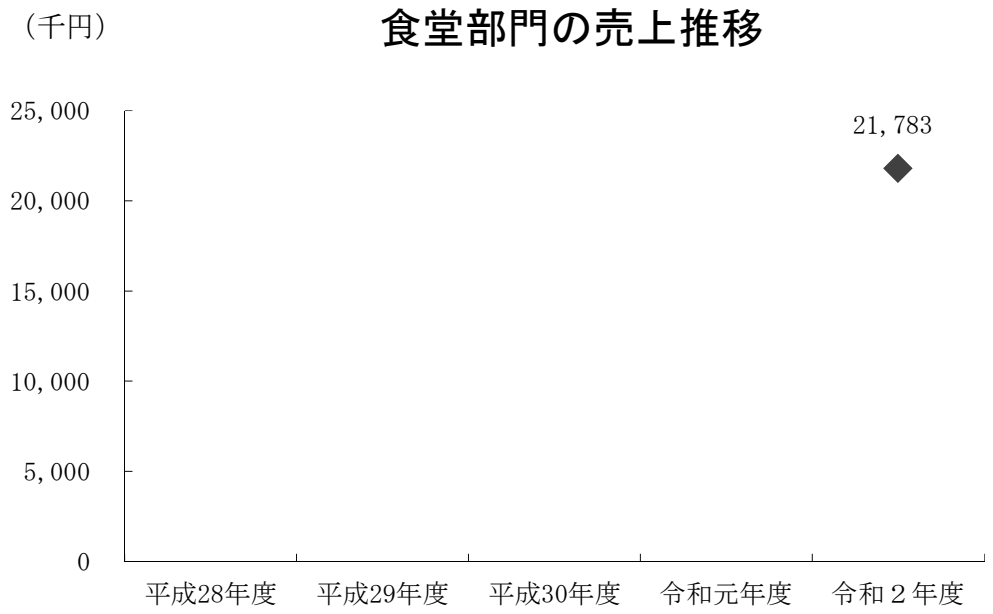
（③1603_ふるさと商社_01入込数）

株式会社遠野ふるさと商社

（単位：千円、％）

区分			売店・販売部門の売上推移					前年度比較	
No.		施設名等	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	増減	増減率
1	売店部門	伝承園	－	－	－	－	6,799	－	－
2		風の丘	－	－	－	－	70,423	－	－
3		川徳店	－	－	－	－	32,665	－	－
4	販売部門	宣伝販売	－	－	－	－	28,558	－	－
5		ふるさと会員	－	－	－	－	19,810	－	－
6		物産フェア	－	－	－	－	2,161	－	－
7		武蔵野店	－	－	－	－	4,012	－	－
計			－	－	－	－	164,428	－	－

（③1604_ふるさと商社_02売店・販売）



株式会社遠野ふるさと商社

（単位：千円、％）

区分		食堂部門の売上推移					前年度比較	
No.	施設名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	増減	増減率
1	伝承園	－	－	－	－	6,965	－	－
2	風の丘	－	－	－	－	14,818	－	－
計		－	－	－	－	21,783	－	－

（③1605_ふるさと商社_03食堂）

(2) 財務状況

表１　損益計算書

株式会社遠野ふるさと商社　（単位：円、％）

区分		令和元年度	令和２年度	前年度比較	
				増減額	増減率
１　収入	(1)売上高	0	279,170,254	279,170,254	皆増
	(2)営業外収入	0	63,999,553	63,999,553	皆増
	計	0	343,169,807	343,169,807	皆増
２　支出	(1)売上原価	0	104,097,651	104,097,651	皆増
	(2)販売費及び一般管理費	0	194,602,478	194,602,478	皆増
	(3)営業外費用	0	178,441	178,441	皆増
	計	0	298,878,570	298,878,570	皆増
経常利益		0	44,291,237	44,291,237	皆増
特別利益		0	0	0	0.0
特別損失		0	60,291,247	60,291,247	皆増
法人税等充当額		0	236,200	236,200	皆増
当期純利益		0	△16,236,210	△16,236,210	△100.0
前期繰越利益剰余金		0	0	0	0.0
次期繰越利益剰余金		0	△16,236,210	△16,236,210	△100.0

（③1608_ふるさと商社_損益計算書）

表２　貸借対照表

株式会社遠野ふるさと商社　　（単位：円、％）

区　　分	令和元年度	令和２年度	前年度比較	
			増減額	増減率
1 資産	50,000	86,253,635	86,203,635	172,407.3
(1)流動資産	50,000	83,985,375	83,935,375	167,870.8
現金及び預金	50,000	49,890,605	49,840,605	99,681.2
売掛金	0	5,150,681	5,150,681	皆増
商品	0	3,913,833	3,913,833	皆増
製品	0	1,312,290	1,312,290	皆増
原材料	0	1,907,092	1,907,092	皆増
前払費用	0	57,310	57,310	皆増
未収入金	0	21,753,513	21,753,513	皆増
未収還付法人税等	0	51	51	皆増
(2)固定資産	0	2,268,260	2,268,260	皆増
建物付属設備	0	2,066,457	2,066,457	皆増
工具器具備品	0	23	23	皆増
保証金	0	201,780	201,780	皆増
2 負債	0	38,439,845	38,439,845	皆増
(1)流動負債	0	28,439,845	28,439,845	皆増
買掛金	0	6,868,355	6,868,355	皆増
未払金	0	16,019,958	16,019,958	皆増
預り金	0	547,459	547,459	皆増
仮受金	0	4,767,873	4,767,873	皆増
未払法人税等	0	236,200	236,200	皆増
(2)固定負債	0	10,000,000	10,000,000	皆増
長期借入金	0	10,000,000	10,000,000	皆増
3 純資産	50,000	47,813,790	47,763,790	95,527.6
(1)株主資本	50,000	47,813,790	47,763,790	95,527.6
資本金	25,000	64,025,000	64,000,000	256,000.0
資本準備金	25,000	25,000	0	0.0
繰越利益剰余金	0	△16,236,210	△16,236,210	－
負債及び純資産合計	50,000	86,253,635	86,203,635	172,407.3

（③1609_ふるさと商社_貸借対照表）